

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年07月19日

計画の名称	小田原の多様な芸術文化活動を生かした、まちのにぎわいと回遊性の向上												
計画の期間	平成29年度 ~ 令和03年度 (5年間)										重点配分対象の該当	○	
交付対象	小田原市												
計画の目標	<p>計画地域一帯は、城下町としての豊かな歴史と文化や、交通の要衝であることを背景に、神奈川県西部の社会経済、観光及び文化の拠点として栄えてきました。</p> <p>しかし、近年は、中心市街地における商業や居住人口の空洞化等により、まちのにぎわいが失われつつあります。</p> <p>本計画によって、芸術文化創造活動の拠点を整備し、あわせて、多くの人が関わりながら芸術文化をつくり上げていく事業や、文化の担い手を育てていくことで、小田原の新たな活力を生み出し、「楽しみが見つかる」「期待感をかきたてる」まちなかとする事で、多くの人々が中心市街地を訪れ、回遊し、活力のある魅力的なまちづくりを目標とするものです。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	4,007	A	3,818	B	97	C	92	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	2.29	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H24		R3
1	中心市街地の流動客数の増加(183,264人/日(H22)から219,700人/日(R3)に増加) 「小田原市主要商店街流動客数調査」において計測される、小田原駅周辺各商店街の流動客数の合計値	183264人/日	人/日	219700人/日
2	小田原駅の乗車人員数の増加(94,893人/日(H21)から98,280人/日(R3)に増加) 「神奈川県勢要覧」において公表される、小田原駅の乗車人員数(年間数値を1日あたりに換算)	94893人/日	人/日	98280人/日
3	市民ホール整備事業における施設利用者数の増加(157,530人/年(H21)から240,100人/年(R3)に増加) 市民ホールの施設利用者数	157530人/年	人/年	240100人/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
計画期間H24~R3														

A 基幹事業																					
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H29	H30	H31	R02	R03					
		一体的に実施することにより期待される効果																			
		備考																			
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	小田原市	直接	小田原市	-	-	小田原城周辺地区暮らし ・にぎわい再生事業	市民ホール（大ホール、広場 ほか）	小田原市						3,818		-		
		計画期間H24～R3																			
												小計						3,818			
											合計						3,818				

B 関連社会資本整備事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	B13-001	市街地	一般	小田原市	直接	小田原市	-	-	周辺道路整備事業	道路整備:幅員約4m・延長約2 20m 用地買収:約37m2	小田原市						97		-	
		市民ホール整備と一体的に建設予定地周辺道路を整備することにより、回遊拠点の機能向上を図る。																		
		計画期間H25～H26																		
											小計						97			
											合計						97			

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H29	H30	H31	R02	R03					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
市街地整備事業	C13-001	市街地	一般	小田原市	直接	小田原市	-	-	芸術文化活動活性化事業	中心市街地においてミュージックストリートや、ダンス、パフォーマンスイベント、まちなか美術館などを随時開催する。	小田原市						0		-		
		市民ホールの整備と一体的に、芸術文化活動の活性化を図り、回遊拠点としての機能の向上を図る。																			
		市単独費による事業																			
	C13-002	市街地	一般	小田原市	直接	小田原市	-	-	芸術文化創造活動担い手育成事業	芸術文化創造活動の担い手育成のための、様々なワークショップ・セミナー、アウトリーチ等を開催する。	小田原市						2		-		
		市民ホールの整備と一体的に、芸術文化活動の活性化を図り、回遊拠点としての機能の向上を図る。																			
		計画期間H24 H25以降市単独費による事業																			
	C13-003	市街地	一般	小田原市	直接	小田原市	-	-	小田原城周辺地区等交通影響調査ほか	基幹事業実施周辺における交通影響調査の実施し、交通円滑化と利便性向上のために有効な誘導システムの導入を検討し整備する。	小田原市						18		-		
		市民ホールと一体的に整備することにより、回遊拠点としての機能の向上を図る。																			
		計画期間H25-H27																			
	C13-004	市街地	一般	小田原市	直接	小田原市/ 民間（商店街）	-	-	小田原城周辺地区等歩行者ネットワーク計画策定事業	基幹事業実施周辺において計画を策定し、整備方針を定め、回遊性、利便性を高めた街なかネットワークを構築する。	小田原市						34		-		
		市民ホールと一体的に整備することにより、回遊拠点としての機能の向上を図る。																			
		計画期間H25～H28																			

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	C13-005	市街地	一般	小田原市	直接	小田原市 / 民間（商店 街）	-	-	小田原城周辺地区等街な か緑化事業	基幹事業実施周辺地域におい て、ワークショップを行い、 地域で計画し、まちなかの緑 化整備を行う。	小田原市						38		-
		市民ホールと一体的に整備することにより、回遊拠点としての機能の向上を図る。																	
		計画期間H25～H28																	
											小計						92		
											合計						92		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
令和3年度末時点の情報について「小田原市主要商店街流動客数調査」、「神奈川県勢要覧」より該当数値を参照し積算した。	令和5年7月
	公表の方法 市ホームページへの公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>指標 関連：令和3年度の主要商店街流動客数については、新型コロナウイルス感染症による多大な影響を受けた結果となった。</p> <p>指標 関連：小田原駅の乗降客数流動客調査については、新型コロナウイルス感染症による多大な影響を受けた結果となった。</p> <p>指標 関連：利用者数については、新型コロナウイルス感染症による多大な影響を受けた結果となった。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	指標 「小田原市主要商店街流動客数調査」において計測される、小田原駅周辺各商店街に流動客数の合計値		
	最終目標値	219700人 / 日	流動客数については、新型コロナウイルス感染症の影響により目標値の達成には至らなかった。しかしながら、新型コロナウイルス感染症流行前の令和元年度の実績値は190,016人 / 日であり、平成24年度の当初現況値183,264人 / 日と比べ約7,000人 / 日以上増加していることを踏まえ、最終目標値を達成できていた可能性はある。また、市民ホールのオープンやUMECO、お城通り歩道整備、ミナカ小田原開業と都市機能整備により、更に中心市街地の流動客数は増加すると予測される。今後はアフターコロナ後の新たな暮らしに対応し、芸術文化創造活動を生かした、まちのにぎわいと回遊性の向上を図っていくことが重要となる。
	最終実績値	173024人 / 日	
2	指標 「神奈川県勢要覧」において公表される、小田原駅の乗車人員数（年間数値を1日当たりに換算）		
	最終目標値	98280人 / 日	令和3年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により乗降客数が減少したことで、目標値と実績値に差が出た。しかしながら、新型コロナウイルス感染症流行前の平成30年度の実績値は97,763人 / 日であり、平成24年度の当初現況値94,893人 / 日と比べ3,000人 / 日以上増加している。
	最終実績値	68659人 / 日	
3	指標 市民ホールの施設利用者数		
	最終目標値	240100人 / 年	利用者数については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、市民ホールは令和3年9月にオープンし、8か月間の実績であるため、通年開館であれば最終目標値を達成していた。また、中心市街地においてはミナカ小田原を始め、関連する各種事業により、公民の都市機能が整備されているため、まちなかの利便性や魅力の上昇により、市民ホールの利用者は更に増加すると予測される。
	最終実績値	195410人 / 年	